

まちの ほっと ニュース

まちの話題やイベントを紹介するコーナー
市民の皆さんからの情報をお待ちしています
問い合わせ先 総務課広報男女参画係
(☎25111内線155・156)

将棋で青森県代表に選ばれました

東中学校3年 柳下美優紀さん



4月23日第25回六戸場所将棋大会で優勝した東中学校3年柳下美優紀さんが8月3日に山形県天童市で行われる全国大会の青森県代表に選ばれました。柳下さんは小学4年生からお父さんの影響で将棋を始めたとのこと。普段は弟広大さん(1級)との手合いや棋譜並べと詰め将棋で実力をつけ、全国大会での入賞を目指して日々頑張っています。

災害時の応援協定を締結

市がイオンスーパーセンター株式会社と

4月28日市役所で、市とイオンスーパーセンター(岡崎双一社長)が災害時の応援協定を結びました。この締結は地震や風水害などの災害時に、市の緊急要請に応じて食料品や飲料水、日用品などを安定供給する応援体制の強化と店舗の駐車場を避難所や物資供給の集積拠点として確保するものです。市民が安心して暮らせるまちづくりのために大きな成果が得られるものと期待されます。



岡崎社長と握手する市長

地名の由来をたずねてウォーキング

稲吉、牛泊、初田など9地名を巡る

5月11日、市文化財保護協会が主催する「地名の由来をたずねて」の研修会が行われました。参加者は9地名、約8kmの道のりを巡り、十和田市の基礎となった南部盛岡藩士・新渡戸十次郎の「碁盤目状の町づくり」の歴史と関係の深い地名に興味を示していました。



稲生川の水で初めて水田となった初田(東二番町)

農家生活体験で感激

北海道の修学旅行生

5月8日・9日苫小牧市立明倫中学校3年生184人が農家民宿をするために訪れました。

沢田悠学館で受け入れ農家42戸のかたと市関係者が出迎え、入村式を行いました。生徒たちは各農家でナガイモの植え付けや野菜の種まきなどの農作業を手伝うなど、農家生活を体験しました。短い間の農家体験でしたが別れのときには感激のあまり涙を流す生徒もいました。ブルーベリーの追肥作業をする生徒



ブルーベリーの追肥作業をする生徒

ビオトープ観察会「春を食べよう」講座

よもぎ入りのパンケーキを作りました

5月10日東公民館に集まった小・中学生20人が一本木沢ビオトープに生えているよもぎやごみなどの春の山菜を収穫しました。

その後、小麦粉からパンの生地を作り、よもぎ入りのパンケーキを焼きあげました。参加者は普段の生活では味わえないおいしさにびっくりしていました。



パンケーキの生地をカップに入れている子どもたち